

「ピノイ・フォーク」のファンが集うライブハウス  
国民的フォーク歌手、フレディ・アギラさん経営の店

## カ・フレディーズ

フィリピンを代表するフォーク歌手、フレディ・アギラさん(56)が経営するライブハウス「カ・フレディーズ」がマニラ市のアドリアティコ通りにオープンした。フレディさんのライブを間近で聞くことができるのとあって、週末になると外国人観光客や国内のファンがかけつける。「カ・フレディーズ」は「フレディとその仲間たち」という意味で、90年代の初め頃、マニラ近郊の高原都市タガイタイにオープンした。その後場所を変えながら営業していたが、2009年7月、現在のマニラ市内のアドリアティコ通りに移った。店の近くにはロビンソン・ショッピングモールやパンパシフィックホテル、ダイヤモンドホテル、ハイアットホテルがあるほか、通りに沿って焼肉店や日本レストラン、カラオケ店、両替商が立ち並ぶ。夕方なるとこの一帯は、食事客や観光客で賑わう。

ロハス通りからペドロヒル通りを進みアドリアティコ通りとの交差点を右折してすぐ、左手に「Ka Freddie's」の赤いネオンサインが見える。約60席のこじんまりとしたホールの正面にステージがある。壁にはサイパンなどフレディさんが外国公演したときのポスター、少数先住民の楽器、ゴールドディスク音楽賞の数々の賞状が展示され、また「クムスタカ(元気かい)」、「マグダレーナ」、「エストゥジャンテ・ブルース(学生ブルース)」など代表曲の楽譜が描かれている。こうした店の内装やデザインはすべてフレディさんがプロデュースしたという。店に入ってすぐのところには日本のポリドール社からヒット曲「アナック(息子よ)」に対して贈られた賞状も展示してある。2階には「イサベラ」、「ピガン」と名付けられた10人前後収容の個室も用意され、またビリヤード台やカラオケ器機も設置されているので、家族やグループで誕生パーティーなどに利用できる。

フレディ・アギラさんは78年、オリジナル曲の「アナック(息子よ)」でデビューした。親の忠告を聞かず家出をして非行に走る息子を嘆き悲しむ歌詞がフィリピン人の心をとらえ、フレディさんは「ピノイ・ポップ」を代表するシンガーソングライターとして一躍有名になった。この曲は、フォーク歌手にあこがれて途中で学業を放り投げ、街のライブハウスで弾き語りをしながらその日暮らしをしていた、フレディさん自身の若い時代の経験が元になったとも言われている。70年代の初めまではプレスリーやビートルズなど欧米のポピュラーソングが「洗練された音楽」とされてきたフィリピンのポップ界。そう



国民的フォーク歌手、フレディ・アギラさん(カ・フレディにて)



「カ・フレディーズ」で熱唱するフレディさん

した外国音楽が人気を保っていた中で、歌詞の中に教訓めいたフレーズを散りばめ、タガログ語の歌詞をフィリピンのメロディーで歌い上げ大ヒットした「アナック」は、従来の「偏見」を塗り替え、国外でも日本を含む世界26カ国でカバーされるほどのヒット曲となる。日本では作詞家のなかにし礼さんが訳詞し、フォーク歌手の加藤登紀子さんと杉田二郎さんが「息子よ」のタイトルで歌って話題を呼んだ。

このフィリピンを代表するフォークシンガーのフレディ・アギラさんは毎週金曜日と土曜日の深夜、ステージに上がり、代表曲を力強く熱唱する。フレディさんの息子でロック歌手のジェリコ・アギラさんのバンド「アナック」は火曜日に出演する。フレディさんが出演する金曜日と土曜日は入場料250ペソ。それ以外の日は同150ペソ。ドリンク(ラムコーク)が付いている。

7:00pm to 2:00am 年中無休  
Adriatico Street corner Pedro Gil Street, Malate, City of Manila  
Tel. 526-7241, 700-0433, 722-8056 →MAP 3 (B-3)

### Free Bird Freddie Aguilar Soars High Again Ka Freddie's Bar and Restaurant, located along Adriatico Street in Malate

Music at Ka Freddie's in Malate is a mix of the old and the new. Aguilar, together with his Watawat Band, takes the main stage on Fridays and Saturdays. Also on Saturdays, his daughter Maegan, who used to be a television personality, croons jazz and blues with Sandugo. Another Saturday feature is the participation of music patrons where they are encouraged to share their personal stories which are then set to music by Aguilar and his band.

The Malate outlet has a 60-seater club that features live music while smaller functions, Isabela and Vigan, cater to more intimate gatherings like videoke sessions, birthday parties and other family occasions. Another area, the Palawan Garden, is a 24/7 section that offers classic meals for those who are pining for some savory meals at ungodly hours at affordable prices. A fresh addition to the usual offerings is a section where Aguilar has put on display some of his personal designs as well as the work of his children. Aside from music, Aguilar also designs his own jeans while two of his daughters are into making clothes and accessories.



スタッフの皆さん

